

注 意 報

＜県民の皆様への注意事項＞

1. 県外（感染の拡大がみられる地域）での行動

- 飲酒を伴う会合（接待を伴う飲食店は特に）は、人数を絞る、距離をとる、長時間を避ける
- マスク着用、手指衛生の徹底（手洗い、消毒）

2. 県内での行動

- 店舗や職場などでのマスク、消毒、換気の徹底
- 感染拡大がみられる地域との往来があった方がいる場合は、家の中でもマスク着用（高齢者がいる場合は特に）

3. 早めの受診行動

- かぜ症状（発熱、せき、のどの痛み等）、息苦しさや強いだるさなど、普段と異なる強い症状のある方は、電話相談の上で医療機関を受診
- 特に医療・介護従事者は医療機関の受診を徹底



県内感染状況と注意報・警報の基準との比較

③において注意報の基準に該当

指標		注意報	警報	県内感染状況 (11/11現在)
分析事項	内容			
感染状況の 拡大	①新規感染者数	2週連続して <u>6人以上/週</u> 発生	2週連続して <u>12人以上/週</u> 発生 ※直近1週間の新規感染者数がその前の新規感染者数と同数か上回る場合に基準に該当	11/5～11/11： <u>18人/週</u> 発生 10/29～11/4： <u>1人/週</u> 発生 ⇒ 注意報・警報に該当しない ※新規感染者の実人数：30人 ※同一クラスターの場合、4人以上は4人とカウント
	②新規感染者数・そのうちに占める感染経路が不明な感染者の割合	<u>6人以上/週</u> かつ 感染経路が不明な人が <u>30%以上</u>	<u>12人以上/週</u> かつ 感染経路が不明な人が <u>30%以上</u>	<u>18人/週</u> かつ 感染経路が不明な人が <u>13%</u> ⇒ 注意報・警報に該当しない ※感染経路不明の割合は新規感染者の実人数で算出
医療体制の 逼迫状況	③入院病床利用者数	<u>30人以上</u>	<u>60人以上</u>	<u>31人</u> ⇒ 注意報に該当する
	④重症者数	<u>5人以上</u>	<u>11人以上</u>	<u>0人</u> ⇒ 注意報・警報に該当しない